

総 務 関 係

筑西広域市町村圏域の概況

筑西広域市町村圏は、茨城県の西部に位置し、県都水戸市から40～50km圏、筑波研究学園都市から20～40km圏、首都東京から70～90km圏にあり、筑西市、結城市、桜川市の3市で構成され人口は約20万人になります。交通は、筑西市を南北に通る国道294号線や広域を東西に横断する国道50号線があり、桜川市には北関東自動車桜川筑西インターチェンジを有しています。鉄道は、JR水戸線、真岡線、関東鉄道常総線が有り、市民の生活の一部として利用されています。

広域面積451.12km²の中には豊かな自然環境と雨引観音等をはじめとする優れた歴史と文化が融合した、落ち着いた生活文化空間を形成しています。

人口減少や急激な高齢化などさまざまな諸問題が取り巻き厳しい状況下ではありますが、住民の負託に応え安心して魅力のあるまちづくりを推進してまいります。

構成三市の面積・人・口世帯数



区分 市別	面積 (km ²)	人口(人)			世帯数 (戸)
		男	女	計	
筑西市	205.30	50,999	52,058	103,057	36,209
結城市	65.76	25,711	25,763	51,474	18,660
桜川市	180.06	20,476	21,085	41,561	13,648
合 計	451.12	97,186	98,906	196,092	68,517

平成29年5月1日 県庁市町村データ(一覧)より抜粋

消防のあゆみ

当広域消防は、筑西広域市町村圏振興計画に基づき、昭和 48 年 4 月に 2 市 5 町 1 村をもって構成されました。平成 17 年 3 月 28 日には、下館市、関城町、明野町、協和町が合併、筑西市が誕生、さらに平成 17 年 10 月 1 日には岩瀬町、真壁町、大和村が合併して桜川市が誕生し、結城市を含めた 3 市の構成になりました。これからも、地域の皆様方が消防行政の利益を平等に享受できるよう、また、日常数多く潜在する危険から地域住民の生活を守る担い手としての責任を果たすため、防災対策の万全を期すべく日夜精進を続けています。

S48. 4. 1	下館市消防本部と結城市消防本部を組合消防本部とし、下館消防署及び川島出張所、並びに結城消防署の 2 署 1 出張所をもって下館地方広域市町村圏事務組合消防本部を発足する。 既設消防力 下館消防署 消防ポンプ自動車 1 台、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、化学消防ポンプ自動車 1 台、救急自動車 2 台、査察車 1 台、超短波無線電話基地局 1 局、移動局 6 局、携帯無線機 9 局、 (川島出張所) 消防ポンプ自動車 1 台、超短波無線電話機移動局 1 局 結城消防署 消防ポンプ自動車 1 台、水槽付消防ポンプ自動車 1 台、化学消防ポンプ自動車 1 台、救急自動車 1 台、指令車 1 台、超短波無線電話基地局 1 局、移動局 6 局、携帯無線機 2 局、 職員数 下館消防署 49 名、結城消防署 36 名の計 85 名及び職員 31 名を増員して、総数 116 名となる。 初代 石島 利一 消防長就任
4. 1	関彰商事株式会社より救急自動車の寄贈を受け、下館消防署に配置する。
4. 5	岩瀬消防署及び真壁消防署を開設する。(仮庁舎)
4. 6	指令車 3 台購入、消防本部、岩瀬消防署、真壁消防署に配置する。
5.29	水槽付消防ポンプ自動車 2 台購入、岩瀬消防署、真壁消防署に配置する。
8. 9	(財)日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、真壁消防署に配置する。
8.21	下館地方広域市町村圏事務組合を筑西広域市町村圏事務組合に名称が変更となる。
10.31	電波法の改正に伴い超短波無線電話機 6 局購入、下記のとおり配置する。(更新)
11.15	結城消防署 基地局 1 局、移動局 2 局 下館消防署 移動局 3 局 超短波無線電話機 9 局購入、下記のとおり配置する。 消 防 本 部 移動局 1 局 岩瀬消防署 基地局 1 局、移動局 3 局 真壁消防署 移動局 4 局 (うち可搬型 1 局)

S49. 1.24 3.30 3.31	篠崎源氏より査察車（スズキフロンテ）の寄贈を受け、下館消防署に配置する (社)日本自動車工業より救急自動車の寄贈を受け、岩瀬消防署に配置する。 職員2名退職、総数114名となる。
S49. 4. 1 5. 7 7.10 7.17 7.29 8. 5 10. 2 10.29 10.31 S50. 3.31	職員46名採用、総数160名となる。 関城分署、明野分署及び協和分署を開設する。(仮庁舎) 指令車4台購入、下館消防署、関城分署、明野分署及び協和分署に配置する。 真壁消防署庁舎(鉄筋コンクリート平家建 445.20 m ² 、総工費 32,111,500 円)が真壁町大字山尾793番地に完成する。 携帯無線機2局購入、岩瀬消防署及び真壁消防署に配置する。 超短波無線電話機移動局4局購入、下館消防署、関城分署、明野分署及び協和分署に配置する。 岩瀬消防署庁舎(鉄筋コンクリート平家建 442.55 m ² 、総工費 32,419,000 円)が岩瀬町大字岩瀬372番地の2に完成する。 水槽付消防ポンプ自動車4台購入、関城分署、明野分署、協和分署及び結城南出張所に配置する。 超短波無線電話機移動局4局購入、関城分署、明野分署、協和分署及び結城南出張所に配置する。 普通消防ポンプ自動車2台購入、岩瀬消防署、真壁消防署に配置する。 超短波無線電話機移動局2局購入、岩瀬消防署及び真壁消防署に配置する。 職員5名退職、総数155名となる。
S50. 4. 1 4. 7 4.12 7. 4 9. 5 10. 1 S51. 1.20 1.28 3. 2 3. 3 3.16 3.22 3.31	結城南出張所(鉄筋コンクリート平家建 250.80 m ² 、総工費 32,062,000 円)が結城市大字大木1138番地に完成する。 職員21名採用、総数176名となる。 関城分署庁舎(鉄筋コンクリート平家建 250.80 m ² 、総工費 31,342,000 円)が関城町大字上野1045番地の1に完成する。 明野分署庁舎(鉄筋コンクリート平家建 248.0 m ² 、総工費 30,943,000 円)が明野町大字倉持1123番地の1に完成する。 協和分署庁舎(鉄筋コンクリート平家建 253.30 m ² 、総工費 30,993,000 円)が協和町大字門井1976番地の1に完成する。 (財)日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、関城分署に配置する。 超短波無線電話機移動局2局購入、消防本部及び関城分署に配置する。 職員22名採用、総数198名となる。 はしご付消防ポンプ自動車を購入、下館消防署に配置する。 超短波無線電話機移動局1局購入、下館消防署に配置する。 株式会社森田ポンプより乗用車(トヨタクラウ)の寄贈を受け、消防本部に配置する。 超短波無線電話機2局購入、明野分署及び協和分署に配置する。 山之内製薬株式会社より救急自動車の寄贈を受け、協和分署に配置する。 救急自動車を購入、明野分署に配置する。 職員3名退職、総数195名となる。

S51. 4. 1	職員2名採用、総数197名となる。
5. 1	職員2名採用、総数199名となる。下館消防署特別救助隊発足する。
7.22	携帯無線機5局購入、岩瀬消防署、真壁消防署、関城分署、明野分署、協和分署各1局配置する。
10. 1	職員2名採用、総数201名となる。
10.20	水槽付消防ポンプ自動車を購入、結城消防署に配置する。(更新)
S52. 1.24	(社)日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け結城消防署に配置する。
1.31	職員1名退職、総数200名となる。
S52. 7. 1	職員3名採用、総数203名となる。
9.12	超短波無線電話機移動局4局購入、関城分署(可搬型)明野分署(可搬型)協和分署(可搬型)及び結城消防署に配置する。
12.16	普通消防ポンプ自動車1台購入、下館川島出張所に配置する。(更新)
S53. 3.31	職員2名退職、総数201名となる。
S53. 4. 1	職員3名採用、総数204名となる。
5. 1	初代 石島 利一 消防長退任、総数203名となる。
5. 2	第二代 赤羽 孝夫 消防長就任
8.31	携帯無線機4局購入、消防本部1局及び結城消防署に3局を配置する。
9.30	第二代 赤羽 孝夫 消防長退任、総数202名となる。
10. 1	第三代 濱野 正 消防長事務取扱就任
	職員2名採用、総数204名となる。
12.18	山林火災用小型動力ポンプを購入、岩瀬消防署に配置する。
S54. 3.31	職員4名退職、総数200名となる。
S54. 6.13	専用電話集録装置8局購入、岩瀬消防署3台、真壁消防署2台、関城分署、明野分署、協和分署に各1台配置する。
7.11	広報車(山林パトロール用)2台購入、岩瀬消防署及び真壁消防署に配置する。
8.18	小型動力ポンプを購入、真壁消防署に配置する。
8.20	加入電話5回線増設(岩瀬、真壁消防署及び関城、明野、協和分署に設置)
8.31	携帯無線機2局購入、結城消防署に配置する。
9. 1	職員5名採用、総数205名となる。
9.20	超短波無線電話機移動局2局購入、岩瀬消防署、真壁消防署に配置する。
12. 1	職員1名採用、総数206名となる。
S55. 2.18	加入電話1回線増設、下館消防署に設置。
3.27	普通消防ポンプ自動車を購入、結城消防署に配置する。(更新)
3.31	職員3名退職、総数203名となる。
S55. 4. 1	職員1名採用、総数204名となる。
7.29	広報車を購入、下館消防署に配置する。(更新)
	指令車を購入、結城消防署に配置する。(更新)
9.20	加入電話1回線増設、結城消防署に設置。
12.20	携帯無線機6局購入、消防本部、岩瀬、真壁消防署及び関城、明野、協和分署

S56. 3.31	に各1局を配置する。 職員2名退職、総数202名となる。
S56.10.15 S57. 1.26 3. 9 3.17 3.31	職員2名採用、総数204名となる。 普通消防ポンプ自動車を購入、下館消防署に配置する。(更新) 携帯無線機4局購入、下館消防署2局、結城消防署、岩瀬消防署に各1局を配置する。 (社)日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、下館消防署に配置する。 消防無線基地局非常電源を設置する。
S57. 4. 5 7.26 10. 1 10.22 12.24 S58. 2.16 2.23 2.28 3. 4	下館市危険物安全協会より広報車(トヨタ・カローラ)の寄贈を受け、消防本部に配置する。 査察車3台購入、結城、岩瀬、真壁の各消防署に配置する。 職員5名採用、総数209名となる。 気象観測装置を下館消防署に設置する。 指令車を購入、大和分署に仮配置する。(開設準備期間) 超短波無線電話機移動局4局、可搬型移動局1局を大和分署に仮配置、下館消防署1局(更新)、結城消防署1局(更新)を配置する。携帯無線機6局購入、下館消防署2局、結城消防署1局を配置、大和分署3局を仮配置する。 水槽付消防ポンプ自動車を購入、大和分署に事前配置する。 大和分署車庫(鉄筋コンクリート平家建 112.50 m ² 、総工費 31,200,000 円)が大和村大字羽田1000番地に完成する。 大和分署に加入電話2回線を事前開設する。
S58. 4. 1 S59. 2. 1 2.22 3.31	大和分署を開設する。職員5名採用、総数214名となる。 職員3名採用、総数217名となる。 化学消防ポンプ自動車を購入、下館消防署に配置する。(更新) 職員4名退職、総数213名となる。
S59. 4. 1 4. 2 5. 1 S60. 1. 1 3. 1 3.31	茨城県防災行政無線局を消防本部に設置する。 第三代 濱野 正 消防長事務取扱退任 第四代 池田 満 消防長就任、職員総数214名となる。 職員2名採用、総数216名となる。 科学万博消防署に職員2名派遣する。 科学万博消防署に職員3名派遣する。(合計5名) 職員1名退職、総数215名となる。
S60. 6.29 8. 1 8. 3	結城消防署庁舎(鉄骨造2階建、建築面積 838.57 m ² 、延面積 1,371.57 m ² 、総工費 225,200,000 円)が結城市みどり町2丁目3番地に完成し移転する。 職員4名採用、総数219名となる。 (財)日本消防協会より広報車(ミツビシ・ギャラン)の寄贈を受け消防本部に配置する。(財)日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ(D-1級富士ロビン)2台の寄贈を受け、協和町「蓮沼団地婦人防火クラブ」下館市「羽黒婦人防火クラブ」に配置する。

S60.10. 1	国際科学技術博覧会協会より普通消防ポンプ自動車（Ａ－１級トヨタ）の寄贈を受け、真壁消防署に配置する。
S61. 3.31	第四代 池田 満 消防長退任 職員３名退職、総数２１５名となる。
S61. 4. 1 5.23 6. 1 8. 5 8. 7	第五代 肥田 猛 消防長就任 職員１名採用、総数２１６名となる。 救助艇（船外機付）を購入、結城消防署に配置する。 職員１名採用、総数２１７名となる。 台風１０号水害により、大規模特殊災害広域航空消防応援により東京消防庁及び横浜市消防局航空隊の応援を受ける。 (財)日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ（Ｄ－１級トーハツ）の寄贈を受け「結城市国府町婦人防火クラブ」に配置する。
S62. 3.31	職員１名退職、総数２１６名となる。
S62. 6.29 8. 3 8.25 9.17 12. 1	消防指令広報車１台購入、関城分署に配置する。(更新) (財)日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ（Ｄ－１級シバウラ）２台の寄贈を受け、「岩瀬町飯淵・久原婦人防火クラブ」及び「関城町上野婦人防火クラブ」に配置する。 第３回茨城県幼年・少年・婦人防火大会が下館市で開催され、会員１,２００名が参加する。 水槽付消防ポンプ自動車を購入、下館消防署に配置する。(更新) 職員１名採用、総数２１７名となる。
S63. 1.21 3. 4	(社)日本自動車工業会より救急自動車の寄贈を受け、岩瀬消防署に配置する。 救急自動車を２台購入、下館消防署、結城消防署に配置する。(更新)
S63. 7.30 8.30 12.27 H1. 1.27 3.31	(財)日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ（Ｄ－１級ラビット）２台の寄贈を受け、「下館市市野辺婦人防火クラブ」及び「関城町西保末婦人防火クラブ」に配置する。 水槽付消防ポンプ自動車を購入、岩瀬消防署に配置する。(更新) 救急自動車４台購入、真壁消防署、関城分署、明野分署、協和分署に配置する。 (更新) 消防指令広報車を購入、結城消防署に配置する。(更新) 携帯無線機２局購入、結城消防署、真壁消防署に配置する。 職員１名退職、総数２１６名となる。
H1. 5.30 7.27 8.30 10. 1 10.11 10.30	消防指令広報車３台購入、下館、岩瀬、真壁消防署に配置する。(更新) 携帯無線機２局購入、関城分署、明野分署に配置する。 下館消防署の放送設備を更新する。 職員２名採用、総数２１８名となる。 水槽付消防ポンプ自動車２台購入、結城消防署、真壁消防署に配置する。(更新) (財)日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ（Ｄ－１級トーハツ）の寄贈を受け真壁町「東山田婦人防火クラブ」に配置する。 (財)日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置する。下館消防署の電話設備を更新する。

H2. 3. 1 3.31	(社)日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、下館消防署に配置する。(更新) 職員3名退職、総数215名となる。
H2. 4. 1 5.24 5.31 6.18 8. 2 8. 6 9.11	職員3名採用、総数218名となる。 電話ファクシミリを購入、下館消防署に設置する。 真壁消防署の電話設備を更新する。 消防指令広報車2台購入、明野分署、協和分署に設置する。(更新) (財)日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ(D-1級シバウラ)の寄贈を受け、協和町「蓮沼団地婦人防火クラブ」に配置する。 岩瀬消防署の無線基地局を更新する。携帯無線機2局購入、結城消防署、協和分署に設置する。 水槽付消防ポンプ自動車3台購入、関城分署、明野分署、協和分署に配置する。 (更新)
H3. 3.31	職員3名退職、総数215名となる。
H3. 4. 1 5.23 6.15 6.26 12.18 12.25 H4. 1.29 3.13 3.31	職員1名採用、総数216名となる。 電話ファクシミリを購入し、結城、岩瀬、真壁消防署に設置する。 連絡車を購入し、消防本部に配置する。(更新) 査察車を購入し、下館消防署に配置する。(更新) 岩瀬消防署の電話設備を更新する。 化学消防ポンプ自動車を購入し、結城消防署に配置する。(更新) ひとり暮らし老人等緊急通報システムの開通式並びに業務を開始する。 (社)日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、結城消防署に配置する。(更新) (株)広沢電気より多目的電源照明車の寄贈を受け、下館消防署に配置する。 自動車電話、心電図伝送装置を購入し全救急車に配備、救急心電図伝送システムを開始する。 車載用無線機2局、携帯無線機2局を購入し、下館消防署、結城消防署に配置する。(更新) 普通消防ポンプ自動車を購入し、岩瀬消防署に配置する。(更新) 職員3名退職、総数213名となる。
H4. 4. 1 11.1 11.5 H5. 3. 3 3.31	職員5名採用、総数218名となる。 職員1名採用、総数219名となる。 普通消防ポンプ自動車を購入し、下館消防署に配置する。(更新) 水槽付消防ポンプ自動車を購入し結城消防署に配置する。(更新) 救助工作車を購入し、下館消防署に配置する。(増強) 職員6名退職、総数213名となる。
H5. 4. 1 10. 1 10.29	職員6名採用、総数219名となる。 職員2名採用、総数221名となる。 消防職員互助会及び筑西防火管理協議会より、一部寄付を受けマイクロバスを購入する。

H5.12.24	30メートル級はしご付消防ポンプ自動車を購入し結城消防署に配置する。 (増強)
H6. 3.31	第五代 肥田 猛 消防長退任 職員3名退職、総数217名となる。
H6. 4. 2	第六代 生井 一郎 消防長就任 職員10名採用、総数228名となる。
10. 1	職員2名採用、総数230名となる。
10.19	広報車を購入し、下館消防署に配置する。(更新)
12. 1	職員1名採用、総数231名となる。
H7. 1. 1	職員1名採用、総数232名となる。火災初期出動体制の改善を実施する。
2.17	救助工作車を購入し、結城消防署に配置する。(増強)
3.16	普通消防ポンプ自動車を購入し結城消防署に配置する。(更新)
3.20	下館消防署に無線局(基地局の全国波)を設置する。(増強)
3.30	広報車(山林パトロール用)2台購入し、岩瀬消防署及び真壁消防署に配置する。(更新)
3.31	職員4名退職、総数228名となる。
H7. 4. 1	職員8名採用、総数236名となる。
5.12	救急救命士法(平成3年法律第36号)施行後初の救急救命士免許取得者1名となる。
7.26	広報車を購入し、消防本部、結城消防署に配置する。(増強)
10. 1	職員1名採用、総数237名となる。
11.14	救急救命士免許取得者1名、計2名となる。
12.25	高規格救急車を購入し下館消防署に配置する。(増強) 救急救命士2名配置。
H8. 3.31	職員3名退職、総数234名となる。
H8. 4. 1	職員2名採用、総数236名となる。
6.25	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設に係る用地の代行買収委託契約を筑西広域市町村圏事務組合管理者と(財)下館市開発公社副理事長との間で締結する。
7. 1	職員3名採用、総数239名となる。
7.10	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設用地に係る買収契約を下館市開発公社と地権者5名で締結する。
8.27	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設事業に係る設計会社選定方法について、首長会議の結果公募プロポーザル方式に決定する。
11. 5	38メートル級梯子付消防ポンプ自動車を購入し下館消防署に配置する。 (更新)
H9. 1.29	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設事業の基本設計委託業務に係る公募型プロポーザル審査会を開催し、最適コンサルタント1社を選出する。
2. 3	救急自動車を購入し真壁消防署に配置する。(更新)
2.13	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事基本設計業務に着手する。
3.22	化学防護服2着及び簡易画像探索機を購入し下館消防署に配置する。(増強)
3.27	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事基本設計計画報告書が提出される。

H9. 3.31	第六代 生井 一郎 消防長退任 職員5名退職、総数233名となる。
H9. 4. 1	第七代 篠田 昭宣 消防長就任 職員5名採用、総数239名となる。
4.10	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事实施設計業務に着手する。
5.19	救急救命士免許取得者1名、計3名となる。
5.20	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事の地質調査業務に着手する。
9. 1	指令車を購入、大和分署に配置する。(更新)
10.24	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事实施設計報告書が提出される
11.20	救急救命士免許取得者1名、計4名となる。
H10. 2. 2	9年・10年度下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎、建設工事、電気設備工事、機械設備工事を契約、工事に着手する。
2.27	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事安全祈願祭を実施する。
3.20	普通消防ポンプ自動車を購入し下館消防署川島出張所に配置する。(更新) 高規格救急車を購入し結城消防署に配置する。(増強) 救急救命士2名配置。 救急車2台を購入し関城分署、明野分署に配置する。(更新)
3.31	職員1名退職、総数238名となる。
H10. 5.20	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎訓練塔工事及び外構工事を契約する。
6.23	筑西広域消防本部消防緊急通信指令施設を契約する。
7. 1	職員8名採用、総数246名となる。
7.31	筑西広域消防本部消防緊急通信指令施設発信地表示システムを契約する。
9.30	筑西広域消防本部防災展示ホール施設工事を契約する。
10.28	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、大和分署に配置する。(更新) 救急車を購入し、協和分署に配置する。(更新)
11.25	救急救命士免許取得者1名、計5名となる。
12.16	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎備品を契約する。
H11. 3.23	筑西広域消防本部・下館消防署併用庁舎が竣工
3.31	第七代 篠田 昭宣 消防長退任 職員2名退職、総数243名となる。
H11. 4. 1	筑西広域消防本部・下館消防署新庁舎で業務を開始する。 第八代 内田 昭治 消防長就任 職員1名採用、総数244名となる。 茨城県防災航空隊へ1名派遣する。
5. 1	職員1名採用、総数245名となる。
9.12	大関消防司令補殉職、総数244名となる。
11.26	救急救命士免許取得者1名、計6名となる。
12. 6	化学消防ポンプ自動車を購入し、下館消防署に配置する。(更新) 消防ポンプ自動車を購入し、真壁消防署に配置する。(更新)
H12. 3.31	職員4名退職、総数240名となる。
H12. 4. 1	職員5名採用、総数245名となる。
5.26	救急救命士免許取得者1名、計7名となる。
H12.11.14	救急救命士免許取得者1名、計8名となる。

H12.11.21	高規格救急車を購入し、岩瀬消防署に配置する。(更新) 救急救命士2名配置。
H13. 3.31	第八代 内田 昭治 消防長退任 職員4名退職、総数240名となる。
H13. 4. 1	第九代 藤田 隆 消防長就任 職員7名採用、総数247名となる。 救急車を大和分署に配置する。(増強)
4.26	救急救命士免許取得者1名、計9名となる。
6. 8	救急救命士免許取得者1名、計10名となる。
6.27	指令車を購入し、関城分署に配置する。(更新)
10.16	クレーン付搬送車・救助艇を購入し、下館消防署に配置する。(増強)
12. 3	救急救命士免許取得者1名、計11名となる。
H14. 1.30	救急車を購入し、大和分署に配置する。(更新)
2.28	指令車を購入し、結城消防署に配置する。(更新)
3.31	第九代 藤田 隆 消防長退任 職員2名退職、総数244名となる。
H14. 4. 1	第十代 本橋 幾郎 消防長就任 職員9名採用、総数254名となる。(救命士免許取得者1名含む) 救急救命士免許取得者1名、計12名となる。 茨城県防災航空隊へ1名派遣する。
6. 6	救急救命士免許取得者1名、計13名となる。
11.26	救急救命士免許取得者1名、計14名となる。
12.20	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を購入、下館消防署に配置する。(更新) 小型動力ポンプ付大型水槽車を購入し、下館消防署に配置する。(増強)
H15. 3.31	職員7名退職、総数247名となる。
H15. 4. 1	職員11名採用、総数258名となる。
5. 6	救急救命士免許取得者1名、計15名となる。
10.29	指令車を購入し、岩瀬消防署に配置する。(更新) 指令車を購入し、真壁消防署に配置する。(更新)
11.13	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を購入し、岩瀬消防署に配置する。 (更新)
12. 9	災害対応特殊救急自動車を購入し、真壁消防署に配置する。(更新) 救急救命士免許取得者1名、計16名となる。
H16. 3.31	職員1名退職、総数257名となる。
H16. 4. 1	職員8名採用、総数265名となる。
5. 7	救急救命士免許取得者1名、計17名となる。
11. 9	災害対応特殊救急自動車を購入、下館消防署川島出張所に配置する。(更新)
11.19	救急救命士免許取得者1名、計18名となる。
12. 7	指導車(ウイングロード)を購入し、下館消防署に配置する。(更新)
12.26	職員1名退職、総数264名となる。
H17. 2. 1	職員1名採用、総数265名となる。
2.28	職員1名退職、総数264名となる。
3.28	下館市、関城町、明野町、協和町が合併、『筑西市』となる。

H17.3.31	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、真壁消防署、結城消防署南出張所に配置する。(更新) 職員2名退職、総数262名となる。
H17.4.1 5.11 10.1 11.10 11.21 H18.3.10 3.27 3.31	職員8名採用、総数270名となる。(救命士免許取得者2名含む) 救急救命士免許取得者1名、計21名となる。 岩瀬町、真壁町、大和村が合併、『桜川市』となる。 救急救命士免許取得者1名、計22名となる。 指令車を購入し、明野分署、協和分署に配置する。(更新) 高規格救急車を購入し、下館消防署に配置する。(更新) 水槽付消防ポンプ自動車を購入し、関城分署、明野分署に配置する。(更新) 職員5名退職、総数265名となる。
H18.4.1 11.6 H19.3.15 3.31	職員8名採用、総数273名となる。 職員1名退職、総数272名となる。 広報車を購入し、下館消防署に配置する。(更新) 災害対応特殊救急自動車を購入し、結城消防署に配置する。(更新) 災害対応特殊消防ポンプ自動車(600ℓ水槽付)を購入し、岩瀬消防署に配置する。(普通ポンプ車の更新) 水槽付消防ポンプ自動車を購入し、協和分署に配置する。(更新) 第十代 本橋 幾郎 消防長退任 職員5名退職、広域事務局へ1名転出、総数266名となる。
H19.4.1 4.26 6.1 11.22 H20.1.20 H20.3.31	第十一代 飯村 勝行 消防長就任 職員8名採用、総数274名となる。 救急救命士免許取得者1名、計23名となる。 職員1名採用、総数275名となる。 職員1名退職、総数274名となる。 職員1名退職、総数273名となる。 職員5名退職、総数268名となる。
H20.4.1 4.15 4.21 6.30 10.1 10.20 3.31	消防本部組織再編 下館消防署を筑西消防署に名称変更、関城・明野・協和分署が筑西消防署の管轄分署となる。 岩瀬消防署を桜川消防署に名称変更、真壁消防署の組織を変更し真壁分署となる。真壁・大和分署が桜川消防署の管轄分署となる。 茨城県防災航空隊へ1名派遣する。 桜川消防署に北関東自動車道路供用開始に伴い救急車を配置する。(増強) 消防本部の救急車(予備車)を廃車する。 救急救命士免許取得者1名、計24名となる。 肥田猛氏より連絡車(パツソ)の寄贈を受け、消防本部に配置する。 消防緊急通信指令施設を高機能消防通信システムに部分更新する。 職員1名退職、総数267名となる。 第十一代 飯村 勝行 消防長退任 職員7名退職、広域事務局へ1名転出、総数259名となる。

H21.4.1	第十二代 大和田邦一 消防長就任
4.22	職員9名採用、総数268名となる。(救命士免許取得者2名含む)
H21.10.31	救急救命士免許取得者3名、計29名となる。
12.1	職員1名退職、総数267名となる。
H22.1.22	高規格救急車を購入し、桜川消防署に配置する。(更新)
3.25	災害対応特殊高規格救急車を購入し、筑西消防署明野分署に配置する。(更新)
3.31	電源照明車を廃車する
	指揮車を購入し、消防本部に配置する。(更新)
	職員7名退職、総数260名となる。
H22.4.1	職員10名採用、総数270名となる。
4.13	救急救命士免許取得者2名、計31名となる。
H23.1.18	救助工作車(Ⅲ型)を購入し、筑西消防署に配置する。(更新)
3.28	指令車を購入し、結城消防署に配置する。(更新)
3.31	職員7名退職、総数263名となる。
H23.4.1	職員10名採用、総数273名となる。
	救急救命士免許取得者1名、計32名となる。
	茨城県立消防学校へ1名派遣する。
5.11	救急救命士免許取得者3名、計35名となる。
9.30	職員1名退職、総数272名となる。
12.1	災害対応特殊高規格救急車を購入し、結城消防署に配置する。(更新)
H24.3.8	水槽付消防ポンプ自動車(CAFS 搭載)を購入し筑西消防署に配置する。(更新)
3.31	職員7名退職、総数265名となる。
H24.4.1	職員10名採用、総数275名となる。
	救急救命士免許取得者2名、計37名となる。
5.10	救急救命士免許取得者2名、計39名となる。
H25.2.1	茨城消防救急無線指令センター整備推進協議会事務局へ1名出向となる。
3.7	災害対応特殊水槽付消防ポンプ車(CAFS・救助資機材搭載)を購入し、結城消防署に配置する。(更新)
	高規格救急車を購入し、筑西消防署協和分署に配置する。(更新)
3.31	第十二代 大和田 一 消防長退任
	職員17名退職、総数258名となる。
H25.4.1	第十三代 森 正雄 消防長就任
	職員14名採用、総数273名となる。
	救急救命士免許取得者1名、計43名となる。
	(財)日本消防協会へ1名出向となる。
4.8	救急救命士免許取得者4名、計44名となる。
4.30	第十三代 森 正雄 消防長退任
	職員1名退職、総数272名となる。
5.8	第十四代 柴 勝昭 消防長就任

H25.5.31 10.31 12.1 H26.3.31	職員1名退職、総員271名となる。 水槽付化学消防車を結城署へ配置換えする。 災害対応特殊高規格救急車を購入し、筑西消防署関城分署に配置する。(更新) 水槽付消防ポンプ車(CAFS・救助資機材搭載)を購入し、桜川消防署に配置する。 職員16名退職、総数255名となる。
H26.4.1 8.1 10.1 H27.1.1 3.25 3.31	桜川消防署に特別救助隊を発足する。 職員28名採用、総数283名となる。 救急救命士免許取得者10名、計54名となる。 茨城県防災航空隊へ1名派遣する。 職員3名採用、総数286名となる。 救急救命士免許取得者3名、計57名となる。 職員1名隊退職、総数285名となる。 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練茨城県実行委員会事務局に1名派遣する。 職員1名採用、総数286名となる。 救急救命士免許取得者3名、計60名となる 災害対応特殊高規格救急車を購入し、桜川消防署真壁分署に配置する。(更新) 災害対応特殊水槽付消防ポンプ車(CAFS)を購入し、結城消防署に配置する。(更新) 職員20名退職、総数266名となる。 救急救命士免許取得者1名退職、計59名となる。
H27.4.1 5.31 9.30 10.1 12.17 H28.2.4 3.31	消防職員定数の期限付き特例を廃止。 消防職員条例定数が300人に改定となる。 広域事務局から1名、総務課へ配属となる。 職員18名、再任用3名採用、総数288名となる。 救急救命士免許取得者2名、計61名となる。 職員1名退職、総数287名となる。 職員1名退職、総数286名となる。 職員5名採用、総数291名となる。 救急救命士免許取得者5名、総数66名となる。 災害対応特殊高規格救急車を購入し、筑西消防署明野分署に配置する。(更新) 高規格救急車を購入し、筑西消防署川島出張所に配置する。(更新) いばらき消防指令センター運用開始、5名派遣する。 第十四代 柴 勝昭 消防長退任 職員20名退職、広域事務局へ1名転出、総数270名となる。 救急救命士免許取得者1名退職、計65名となる。

H28.4.1	第十五代 水越 輝夫 消防長就任 職員22名、再任用6名採用、総数298名となる。 救急救命士免許取得者、総数71名となる。
7.27	職員1名退職、総数297名となる。
12.31	職員1名退職、総数296名となる。
H29.3.9	災害対応特殊高規格救急車を購入し、結城消防署南出張所に配置する。(更新) 高規格救急車を購入し、桜川消防署大和分署に配置する。(更新)
3.31	職員21名退職、再任用職員6名退職、総数269名となる。
H29.4.1	消防本部が、総務課、警防課、管理統制課、予防課に組織改編。 職員18名採用、再任用職員11名(短時間7名、フルタイム4名)採用、 総数298名となる。 救急救命士免許取得者、総数76名となる。 日本消防協会へ1名派遣する。 茨城県生活環境部防災・危機管理局 消防安全課へ1名派遣する。 小型無人航空機(ドローン)を警防課に配備、運用開始する

平成28年度消防当初予算比較表

(単位：千円)

歳 入	
消防分賦金	2,504,481
(前年度)	2,415,988
組 合 債	65,600
(前年度)	266,400
繰 越 金	44,689
(前年)	97,493
県補助金	0
(前年度)	0
諸 収 入	20,512
(前年度)	16,935
使用料及び手数料	3,953
(前年度)	4,500
筑西消防署・消防本部庁舎敷地特別金賦金	26,180
(前年度)	26,180
合 計	2,665,415
(前年度)	2,827,496

(単位：千円)

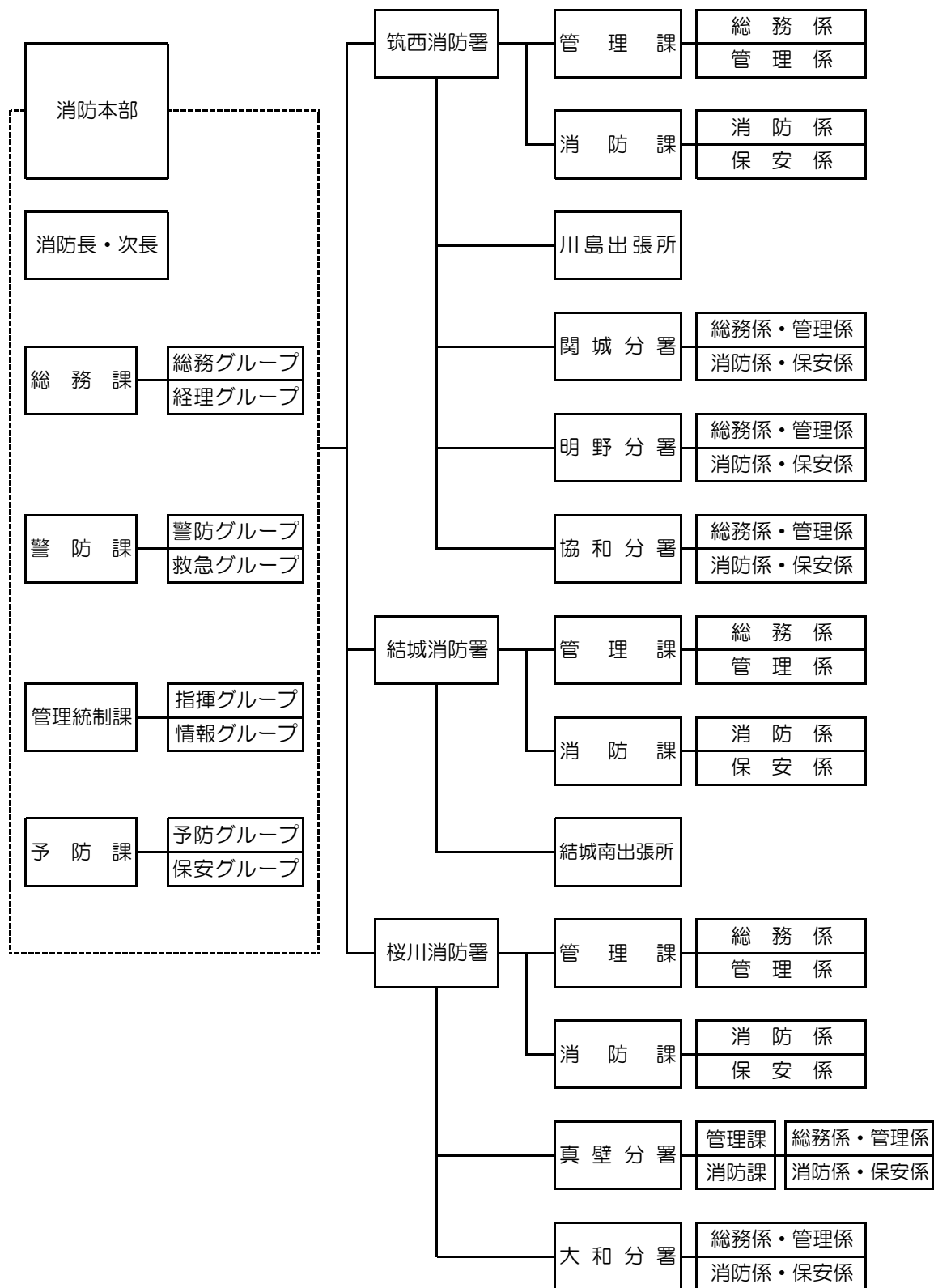
歳 出	
職員給与関係経費	2,164,825
(前年度)	2,183,258
消防運営事務費	292,502
(前年度)	406,191
消防施設整備事業	0
(前年度)	71,000
公 債 費	206,688
(前年度)	165,647
予 備 費	1,400
(前年度)	1,400
合 計	2,665,415
(前年度)	2,827,496

平成28年度消防分賦金明細

(単位：千円)

市 別	分 賦 金		左 の 内 訳					
			世帯割 (40%)		基準財政需要額割 (30%)		職員割 (30%)	
筑西市	1,265,050	50.5%	533,357	51.5%	389,669	51.9%	342,024	47.7%
(前年度)	1,221,147	50.5%	513,913	53.2%	376,913	52.0%	330,321	45.6%
結城市	608,135	24.3%	265,985	25.7%	168,977	22.5%	172,611	24.1%
(前年度)	593,298	24.6%	256,167	26.5%	163,906	22.6%	173,178	23.9%
桜川市	631,296	25.2%	236,540	22.8%	192,530	25.6%	202,226	28.2%
(前年度)	601,543	24.9%	196,296	20.3%	183,964	25.4%	221,283	30.5%
合 計	2,504,481	100.0%	1,035,882	100.0%	751,176	100.0%	716,861	100.0%
(前年度)	2,415,988	100.0%	966,376	100.0%	724,783	100.0%	724,782	100.0%

筑西広域市町村圏事務組合消防本部組織図



消防本部事務分掌

総務課

- (1) 予算及び経理に関すること。
- (2) 消防施設、消防用財産の建設及び管理に関すること。
- (3) 貸与品及び消耗品等に関すること。
- (4) 組織、制度及び消防関係例規に関すること。
- (5) 消防事務の企画及び事務管理に関すること。
- (6) 公印の管守に関すること。
- (7) 文書に関すること。
- (8) 総務の統計に関すること。
- (9) 関係機関との情報連絡に関すること。
- (10) 職員の任免、昇任、昇格、配置、服務、分限、懲戒、表彰、その他の人事に関すること。
- (11) 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- (12) 職員の共済組合及び総合事務組合に関すること。
- (13) 職員の給与、公務災害補償及び補償補填に関すること。
- (14) 職員の消防教育機関への派遣、入校、その他の研修及び出向計画に関すること。
- (15) 消防職員委員会に関すること。
- (16) 総務に関する調査研究及び教養訓練に関すること。
- (17) 他の課に属しないこと。

警防課

- (1) 災害対策本部の設置、運営に関すること。
- (2) 消防の相互応援に関すること。
- (3) 緊急消防援助隊に関すること。
- (4) 防災関係機関及び医療機関との連絡に関すること。
- (5) 消防機械の配置に関すること。
- (6) 車両、消防機器の整備及び管理に関すること。
- (7) 消防用油脂類及び消火薬剤の管理に関すること。
- (8) 車両の事故に関すること。
- (9) 機関員の技能管理及び認定に関すること。
- (10) 救急、救助に関すること。
- (11) 筑西広域管内救急高度化委員会に関すること。
- (12) 職員教育の管理に関すること。
- (13) 警防の統計に関すること。
- (14) 警防に関する調査研究及び教養訓練に関すること。

管理統制課

- (1) 指揮本部の設置及び運営に関すること。
- (2) 災害活動における指揮、通信及び水利の統制に関すること。
- (3) 災害情報の収集及び伝達に関すること。
- (4) 追加出場指令及び出場隊の編成に関すること。
- (5) 災害の出場及び報告に関すること。
- (6) いばらき消防指令センターの事務に関すること。
- (7) 気象情報の収集及び伝達に関すること。
- (8) 火災警報に関すること。
- (9) 防災行政無線及び市民メールに関すること。
- (10) 消防通信連絡及び災害即報に関すること。
- (11) 消防緊急通報システムの調整及び運営管理に関すること。
- (12) 通信機器の整備及び管理に関すること。
- (13) 情報共有端末装置の各種データベースに関すること。
- (14) 非常召集に関すること。
- (15) 警防計画に関すること。
- (16) 地理及び水利の調査に関すること。
- (17) 開発行為に関すること。
- (18) 管理統制の統計に関すること。
- (19) 管理統制に関する調査研究及び教養訓練に関すること。

予防課

- (1) 火災の予防に関すること。
- (2) 防火思想の普及に関すること。
- (3) 予防査察及び指導に関すること。
- (4) 建築確認等の同意に関すること。
- (5) 消防用設備等の設置及び指導に関すること。
- (6) 予防の統計に関すること。
- (7) 火災調査に関すること。
- (8) 罹災証明等に関すること。
- (9) 広報広聴及び報道対応に関すること。
- (10) 防火管理者及び危険物取扱者に関すること。
- (11) 防火保安団体に関すること。
- (12) 危険物製造所等の許認可に関すること。
- (13) 危険物製造所等の火災予防措置に関すること。
- (14) 少量危険物及び指定可燃物の火災予防措置に関すること。
- (15) 液化石油ガス等貯蔵取扱施設の保安上の措置に関すること。
- (16) 防火対象物定期点検報告制度に関すること。
- (17) 予防に関する調査研究及び教養訓練に関すること。

消防署(分署)事務分掌

筑西・結城・桜川消防署 関城・明野・協和・真壁分署

管理課

総務係

- (1) 文書、統計及び公印の管守に関すること。
- (2) 予算及び経理に関すること。
- (3) 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- (4) 職員の給与、貸与品及び消耗品に関すること。
- (5) 職員の服装及び勤務に関すること。
- (6) 他の課又は係に属さないこと。

管理係

- (1) 職員の教育、訓練に関すること。
- (2) 消防用機器及び通信施設の管理に関すること。
- (3) 消防用資器材及び薬剤等の保守管理に関すること。
- (4) 警防計画に関すること。
- (5) 火災等の警防に関すること。
- (6) 救急、救助業務に関すること。

消防課

消防係

- (1) 罹災証明等に関すること。
- (2) 火災の統計に関すること。
- (3) 予防査察に関すること。
- (4) 防火管理者及び危険物取扱者の育成指導に関すること。
- (5) 消防計画及び訓練指導に関すること。
- (6) 消防用設備及び危険物製造所の点検、報告に関すること。
- (7) その他火災予防事務に関すること。

保安係

- (1) 建築確認等の同意に関すること。
- (2) 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- (3) 危険物製造所等の規制に関すること。
- (4) 危険物製造所等の火災予防措置に関すること。
- (5) 少量危険物、指定可燃物の火災予防措置に関すること。
- (6) 液化石油ガス貯蔵取扱施設の保安上の措置に関すること。
- (7) 高圧ガス、火薬類、核燃料物質、放射線同位元素、劇毒物等の査察及び火災予防措置に関すること。

消防本部・署所別庁舎一覧表

区分 署別	所 在 地	構 造	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
消 防 本 部 筑西消防署	筑西市直井 1,076 番地 平成 11 年 3 月 23 日竣工	庁舎 RC3/O 訓練塔A RC6/O 訓練塔B S2/O 訓練塔C S2/O	2634.42 77.66 149.74 81.91	5413.66 341.30 289.81 155.46	14,911.00
筑西消防署 川島出張所	筑西市下川島 771 番地 1 昭和 44 年 3 月 31 日竣工 ※公民館一部消防庁舎	RC2/O	58.30	58.30	265.70
筑西消防署 関城分署	筑西市上野 1,045 番地 昭和 50 年 4 月 7 日竣工	RC1/O	259.98	259.98	3,553.24
筑西消防署 明野分署	筑西市倉持 1,123 番地 1 昭和 50 年 4 月 12 日竣工	RC1/O	250.00	250.00	743.00
筑西消防署 協和分署	筑西市門井 1,976 番地 1 昭和 50 年 7 月 4 日竣工	RC1/O	260.82	260.82	1,886.52
結城消防署	結城市みどり町二丁目 3 番地 昭和 60 年 6 月 29 日竣工	ALC2/O	855.41	1,371.57	3,361.45
結城消防署 結城南出張所	結城市大字大木 1,138 番地 昭和 50 年 4 月 1 日竣工	RC1/O	250.80	250.80	1,332.18
桜川消防署	桜川市西桜川二丁目 29 番地 昭和 49 年 8 月 5 日竣工	RC1/O	442.85	436.69	1,810.08
桜川消防署 真壁分署	桜川市真壁町山尾 793 番地 昭和 49 年 7 月 10 日竣工	RC1/O	435.20	426.40	1,224.54
桜川消防署 大和分署	桜川市羽田 1,000 番地 プレハブ仮庁舎 ※平成 23 年 10 月から	仮庁舎 1/O 車庫 RC1/O	55.00 114.00	55.00 114.00	902.00

職員係別配置状況（１）

（平成29年4月1日現在）

本部・署係別		階 級	計	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
消防本部	総務課	消 防 長	1	1							
		消 防 次 長	1		1						
		参事兼課長	1		1						
		副参事兼課長補佐	1			1					
		課長補佐	2				2				
		庁舎建設担当	(1)				(1)				
		財政担当	(1)				(1)				
		総務グループ	2					1	1		
		経理グループ	1						1		
		再任用	1					1	1		
		総務課付	13				1	1	1	1	9
	警防課	課 長	1			1					
		課長補佐	3				3				
		消防装備担当	(1)				(1)				
		警防担当	(1)				(1)				
		高度救命担当	(1)				(1)				
		救急グループ	1					1			
		再任用	1						1		
	管理統制課	課 長	1			1					
		副参事兼指揮隊長	1			1					
		課長補佐	1				1				
		情報グループ	7				2				
		指揮グループ	9				4				
		指令センター派遣	5			2		3	2		
		再任用	2					3	2		
	予防課	課 長	1			1					
		副参事兼課長補佐	1			1					
		課長補佐	3				3				
		調査担当	(1)				(1)				
		保安担当	(1)				(1)				
		査察担当	(1)				(1)				
		予防グループ	1					1			
		再任用	1						1		
	小 計		62	1	2	8	16	13	12	1	9
消防署	管理課	参事兼署長	1		1	1					
		副 署 長	1								
		副署長補佐	1				1				
	管理課	課 長	1				1				
		課長補佐	1				1				
		総務係	13					3	2	2	6
	消防課	管 理 係	14					2	2	6	4
		課 長	1				1				
		課長補佐	2				2				
		消 防 係	13					3	3	4	3
	保安係	保 安 係	14					3	3	4	4
		予防専従員	2				1		1		
		再任用	2						2		
	小 計		66		1	1	7	11	13	16	17
関城分署	分 署 長		1				1				
	総 務 係		3					1		1	1
	管 理 係		4					1	1	1	1
	消 防 係		3					1	1		1
	保 安 係		3					1		1	1
	小 計		14				1	4	2	3	4

職員係別配置状況（２）

（平成29年4月1日現在）

階 級 署係別		計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士
明 野 分 署	分 署 長	1				1				
	總 務 係	3					1	1		1
	管 理 係	3					1	1	1	
	消 防 係	3					1	1		1
	保 安 係	4					1		1	2
	小 計	14	0	0	0	1	4	3	2	4
協 和 分 署	分 署 長	1				1				
	總 務 係	3					1		1	1
	管 理 係	4					1			3
	消 防 係	3					1	1	1	
	保 安 係	3					1	1		1
	小 計	14	0	0	0	1	4	2	2	5
結 城 消 防 署	署 長	1			1					
	副署長兼南出張所長	1			1					
	管 理 課	1				1				
	課長補佐	1				1				
	總 務 係	10					2	2	2	4
	管 理 係	13					3	1	3	6
	消 防 課	1				1				
	課長補佐	2				2				
	消 防 係	10					2	2	2	4
	保 安 係	12					2	4	3	3
	予防専従員	1					1			
	小 計	53	0	0	2	5	10	9	10	17
桜 川 消 防 署	署 長	1			1					
	副署長兼大和分署長	1			1					
	管 理 課	1				1				
	課長補佐	1				1				
	總 務 係	11					2	2	4	3
	管 理 係	12					3	1	3	5
	消 防 課	1				1				
	課長補佐	1				1				
	消 防 係	11					2	3	3	3
	保 安 係	12					2	1	2	7
	予防専従員	1					1			
	小 計	53		0	2	4	10	7	12	18
真 壁 分 署	分 署 長	1			1					
	管 理 課	1				1				
	總 務 係	4					1	1		2
	管 理 係	5					1	2	1	1
	消 防 課	1				1				
	消 防 係	5					1	1		3
	保 安 係	5					1		2	2
小 計		22	0	0	1	2	4	4	3	8
總 合 計		298	1	3	14	37	60	52	49	82

階級別勤務年数

(平成29年4月1日現在)

階級 勤続年数	計	消 防 正 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
1年未満	18								18
1 年	27								27
2 年	21								21
3 年	28							15	13
4 年	12							11	1
5 年	9							8	1
6 年	10						3	7	
7 年	9						4	5	
8 年	9						6	3	
9 年	1							1	
10 年	7					2	5		
11 年	8					1	7		
12 年	8					7	1		
13 年	7					6	1		
14 年	8				1	6	1		
15 年	9				2	6	1		
16 年	7				1	5	1		
17 年	6				3	3			
18 年	7				6		1		
19 年	0								
20 年	7				5	2			
21 年	2				1	1			
22 年	11			2	4	5			
23 年	10				6	4			
24 年	6			1	1	4			
25 年	4				1	3			
26 年	1					1			
27 年	4			1	1	2			
28 年	0								
29 年	1				1				
30 年	1						1		
31 年	4			1	1		2		
32 年	2				1		1		
33 年	3		1		1		1		
34 年	9			5	1	2	1		
35 年	2			1			1		
36 年	0								
37 年	3			2			1		
38 年	1			1					
39 年	3	1	2						
40 年	1						1		
41 年	1						1		
再任用職員	11						11		
計	298	1	3	14	37	60	52	50	81

階級別年齢

平成29年4月1日現在)

階級 年齢	計	消 正	防 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士
19歳未満	5									5
19 歳	6									6
小計	11									11
20 歳	12									12
21 歳	12								2	10
22 歳	15								3	12
23 歳	16								3	13
24 歳	15								4	11
25 歳	9							1	5	3
26 歳	14								9	5
27 歳	9								8	1
28 歳	12							2	8	2
29 歳	9							5	3	1
小計	123							8	45	70
30 歳	9							7	2	
31 歳	2							1	1	
32 歳	7						2	4	1	
33 歳	8						3	4	1	
34 歳	9						5	4		
35 歳	7						7			
36 歳	7						6	1		
37 歳	9					1	7	1		
38 歳	7					5	2			
39 歳	6					3	3			
小計	71					9	35	22	5	
40 歳	9					4	5			
41 歳	9					5	4			
42 歳	5					2	3			
43 歳	9					3	6			
44 歳	8				2	4	1	1		
45 歳	7				1	4	2			
46 歳										
47 歳	1						1			
48 歳	1					1				
49 歳	3				1		1	1		
小計	52				4	23	23	2		
50 歳	1					1				
51 歳	3				1	1		1		
52 歳	1				1					
53 歳	3					1	1	1		
54 歳	4				3	1				
55 歳	3						1	2		
56 歳	1				1					
57 歳	5		1		2			2		
58 歳	6		2		2	1		1		
59 歳	3	1						2		
小計	30	1	3	10	5	2	9			
再任用職員	11							11		
合 計	298	1	3	14	37	60	52	50	81	

消防吏員住所

(平成29年4月1日現在)

階級 圏別		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
圏内	筑西市	150	1	2	8	13	31	24	27	44
	結城市	39			3	10	9	7	2	8
	桜川市	88		1	2	13	15	16	17	24
圏外	県内	12					3	2	3	4
	県外	9			1	1	2	3	1	1
合計		298	1	3	14	37	60	52	50	81

礼状等発送状況

(平成28年度)

種別		月別												合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
火災	発生件数	4	5	10	7	5	3	7	6	6	10	8	16	87
	発送件数								1					1
救急	発生件数	600	640	624	680	704	654	708	691	782	782	681	669	8215
	発送件数					1							1	2
救助	発生件数	7	15	15	12	8	8	9	14	5	6	9	4	112
	発送件数													0

各種表彰状況

(平成28年度)

区分		消防長一般者表彰				職員表彰								
種別		優良分団	火災協力	救急救命	救助協力	消防庁長官	茨城県知事	日本消防協会	全国消防協会	茨城県消防協会	全国消防長会	全国消防長会 関東支部	茨城県消防長会	消防長表彰 合計
人数			2			3	19	3	1	2	1		1	62
団体数 部隊		6												6

消防職員教育状況

平成28年度

種 別			回数・人員・階級	実施回数	受講人員	消防司令以上	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合 計				33	132	9	23	17	19	64
大学消防学校	危機管理・国民保護コース			1	1	1				
	高度救助・特別高度救助コース			1	1	1				
研救修命所士	東 京	救命士養成研修		1	1				1	
	九 州	指導救命士養成		1	1	1				
		救命士拡大2処置		2	2		2			
消防学校	初任教育	初 任 科		2	22					22
	専 科 教 育	救 急 科		2	11					11
		救 助 科		1	3			3		
		火 災 調 査 科		1	3		3			
		危 険 物 科		1	3		2	1		
		警 防 科		1	3		3			
		特 殊 災 害 科		1	3		3			
	特別教育	水 難 救 助 課 程		1	2			1	1	
		操 法 指 導 者 研 修 会		1	3		2	1		
各種研修	AHA-BLSプロバイダーコース			6	28		1	2	4	21
	AHA-ACLSプロバイダーコース			0	0					
	茨 城 県 救 急 医 学 会			1	30	4	3	5	8	10
	気 管 挿 管 再 教 育 講 習			3	5		1	2	2	
	ロ ー プ レ ス キ ュ ー (ロ ー プ ア ク セ ス I)			1	1		1			
	ス イ フ ト ウ ォ ー タ ー レ ス キ ュ ー (テ ク ニ シ ャ ン レ ベ ル 1)			0	0					
	潜 水 士			0	0					
	小 型 船 舶 免 許 取 得 講 習 会			1	2				2	
	玉 掛 け 技 能 講 習			1	2		1	1		
	小 型 式 移 動 ク レ ーン 運 転 技 術 講 習			1	2			1	1	
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習			1	2	1	1			
	消 防 職 員 安 全 衛 生 管 理 者 講 習 会			1	1	1				